

JCO臨界事故18周年集会

国労水戸

国労水戸地方本部
水戸市中央1-1-11
ENYビル2F
029-221-4008
発行責任者 塚原良雄
編集責任者 坂下 司

原発再稼働を許すな！

東海村JCO臨界事故から18年が経過した。9月30日、東海第2原発再稼働を許すな！JCO臨界事故18周年集会が開催された。全体で300名、国労から10名が参加した。

司会の挨拶に始まり、臨界事故を語り継ぐ会の大泉さんから「地元からの報告」、「原水爆禁止日本国民会議からの報告」を受けて、原子力資料情報室から山口さんの講演を受けた。



裂が出来ない状態が引き起こされた。東海村の原発は40年を経過している。

仲間の信頼 力に変えて さあ踏みだそう 組織の拡大へ

「老朽化の問題」「東京電力福島第一原発事故から考えられる事故時の途方もない96万人避難計画？」等について講演が始められ、地震度のスペクトル等や中越地震等の新潟県の住民運動から東京電力の甘さが指摘され、小委員会・技術委員会・県・県民の相互関係が出来上がった経過などを受けた。

技術委員会の課題は、地震動による重要機器の状況・海水注入時の重大事項の意思決定・東京電力の事故対応マネジメント・メルtdown等の情報発信の在り方（東京電力福島第一原発事故にはメルtdownは発生していないと当初東京電力が報じていた）・高線量化の作業・シビアアクシデントなど。東京電力福島原発の検証が訴えられ、新潟において

の事故原因と技術委員会・健康と生活への影響・安全な避難方法と避難委員会の



考えが報告された。講演終了後、集会アピール、デモ行動を行った。



2017年度
年末手当要求
12月1日支払い
3・5ヶ月要求